

4月26日から5月28日、長いと思っていましたがあっという間に過ぎていった一か月でした。率直な感想は、「三沢病院に来てよかった！」です。

実習初日、初めての学外実習で緊張する僕に先生がおっしゃった一言は、「うちは学生も戦力だから」。学生だからと甘えていた自分の覚悟の弱さを実感した瞬間でした。同時に、知識も技術もまだまだ浅い自分をチームの一員として迎えていただいていることがとても嬉しかったです。

実習では主に手術や回診に参加させていただきました。開腹や腹腔鏡、癌からヘルニアまで多くの手術を経験することができました。解剖や術式に関することを予習していても、刻一刻と変化していく術野では対応させるのは難しいことでした。その中でも先生方が疑問に答えてくださったりポイントとなることを問いかけてくださったりしたおかげで毎回確かな学びを得ることができたと思います。はじめは糸結びもままならない僕でしたが、腹腔鏡のカメラ操作や埋没縫合など、少しずつですが手技も慣れてこられたと思います。時には2人での手術の時もあり、緊張感や責任感とともに達成感も感じることもできました。少しでも戦力になることができていたのなら幸いです。

三沢病院での実習で、自分としては成長できたと思います。知識・手技はもちろんですが、先月までのほぼ“お客さん”状態だった自分から、少しは医療従事者に気持ちの面で近づけたのかなと思います。反省点としては、もう少し積極性があれば良かったです。失敗を恐れずもっと挑戦すべきでした。しっかりフォローしてくださる先生方が三沢病院の外科にはいらっしやいますから。

休日は三沢市内やその周辺に外出し、先生に教えていただいた珈琲店やレストラン、温泉に足を運びました。街中にあふれる英語、畑、航空機、太平洋… 県内でありながら弘前・津軽と違う土地柄の中での生活は新鮮で、実習以外でもよい経験ができたと思います。

三沢病院では多くを学習させていただいたとともに、学生の立場ではありますが“楽しい”と思える実習をさせていただきました。担当させていただいた患者さん、ご指導くださいました外科の松本先生、池永先生、久保先生をはじめ病棟・手術室のスタッフの皆様、コロナ禍ながら実習環境を整えてくださった管理課工藤さんと事務の方々に感謝申し上げます。この経験をこれからの実習、そして医師になってからも活かしていきたいです。ありがとうございました。三沢病院でよかった！

